



メンバー表

OTOWAカップ 第35回 関東女子ラグビーフットボール大会 第10節

2025/01/04
13:00 Kick Off
横河

横河武蔵野Artemi-Stars (Host)			立正大学アルカス (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
池田 韻 (関東協会)
タッチジャッジ
高橋 真弓 (日本協会A)
岡田 和果 (関東協会)
田中 愛 (関東協会)

横河武蔵野Artemi-Stars						出身/所属	
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重		
1	PR	菅 萌絵		24	151/63	長崎南高校 → 流通経済大学大学院	
2	HO	谷口 琴美		29	163/75	旭丘高校 → 日本体育大学	
3	PR	加藤 幸子		24	165/90	中部大学春日丘高校 → 早稲田大学	
4	LO	川村 雅未		25	173/75	岩見智翠館高校 → 流通経済大学	
5	LO	櫻井 綾乃		28	166/74	高崎女子高校 → 日本体育大学	
6	FL	山本 和花		25	155/63	門司学園高校 → 日本体育大学	
7	FL	丹治 胡春		19	158/61	関東学院六浦高校 → 立正大学	
8	No.8	高野 真希		29	170/78	佼成学園女子高校 → 日本体育大学	
9	SH	津久井 萌		24	153/53	東京農業大学第二高校 → 青山学院大学	
10	SO	林 かな		23	166/64	福岡高校 → 東京学芸大学	
11	WTB	小西 似呼		22	153/64	青山学院大学 → 筑波大学大学院	
12	CTB	高杉 漣		19	155/60	流通経済大学付属柏高校 → 日本女子体育大学	
13	CTB	片岡 詩		20	164/65	佐賀工業高校	
14	WTB	岡田 亜祐		19	159/56	追手門学院高校 → 明治大学	
15	FB	上野 花珠		19	158/56	関東学院六浦高校 → 筑波大学	
16	Re.	左高 裕佳		30	168/100	愛知みずほ大学瑞穂高校 → 愛知みずほ大学	
17		小関 蓮		25	170/78	米沢工業高校 → 日本体育大学	
18		牛嶋 菜々子		22	163/76	関東学院六浦高校 → 日本体育大学	
19		今明 なる		20	161/65	京都成章高校 → 帝京大学	
20		福田 真白		20	158/64	関東学院六浦高校 → フェリス学院大学	
21		吉田 真琴		21	148/52	國學院大学久我山高校 → 國學院大学	
22		金子 紅葉		21	158/56	目黒学院高校 → 國學院大学	
23		岡本 奈那		19	158/61	佐賀工業高校 → 東京農業大学	

立正大学アルカス						出身/所属	
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重		
1	PR	小玉 陽菜		19	155/70	正智深谷高校	
2	HO	公家 明日香		30	163/69	立正大学	
3	PR	伊藤 仁那		20	163/63	麗澤高校	
4	LO	大久保 芽衣		20	176/62	利府高校	
5	LO	吉村 乙華		23	174/76	立正大学	
6	FL	加藤 璃子		18	160/62	正智深谷高校	
7	FL	長田 いろは		26	167/62	立正大学	
8	No.8	長瀬 拓美		22	153/52	京都成章高校	
9	SH	農山 紗叶		21	145/50	石見智翠館高校	
10	SO	大塚 朱紗		25	163/65	流通経済大学	
11	WTB	廣瀬 翠		20	159/58	開志国際高校	
12	CTB	小出 深冬		29	165/58	東京学芸大学	
13	CTB	山田 晴楽		20	162/66	深谷高校	
14	WTB	丸山 希香		18	156/55	深谷高校	
15	FB	今釘 小町		22	158/60	立正大学	
16	Re.	山口 桃佳		19	163/69	麗澤高校	
17		鈴木 麻瑠		19	170/74	東海大学付属静岡翔洋高校	
18		寺山 佐与		18	169/64	熊谷女子高校	
19		谷口 令子		32	166/65	東京学芸大学	
20		宮波 ひなの		20	163/62	四日市メリノール学院	
21		松井 溪南		24	156/55	立正大学	
22		向井 楓葉		21	152/53	京都成章高校	
23		鈴木 柚来		19	163/58	四日市メリノール	

* 背番号の白抜きはキャプテン * 資格は F:外国籍、A:アジア、E:特別 * メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』